

新潟市北区郷土博物館 令和4年度事業計画

* 分館の閉館に伴う資料の移動・整理と、本館常設展示拡張の作業のため

R4. 10/31 (月) ~ R5. 1/3 (火) の間、休館します。

1 展示事業

(1) 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」(考古・歴史・民俗・芸術(書))

(2) 常設展示拡張 「葛塚縞」コーナーの設置と公開

本館ホールの一部を利用して常設の展示コーナーを設置し、横井の丘ふるさと資料館で展示、活用していた葛塚縞の資料を公開する。

・公開開始 R5. 1/4 (水)

(3) 企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 昭和の暮らし展—日々をいろどる「食」の風景—

前年度1月から継続。シリーズ6回目。

- ・会期 R4. 1/4 (火) ~ 5/8 (日)
- ・体験コーナー：天秤棒を担いでみよう
- ・食の思い出掲示板
- ・展示解説(当館学芸員)：4/23 (土)、5/7 (土)

② 特色ある区づくり事業 2022 木崎村小作争議100周年事業

生活の向上を求めた小作農民と地主眞嶋桂次郎展 —史料でさぐる小作と地主それぞれの思い—

木崎村小作争議は、農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の農民運動として全国的にも知られている。令和4(2022)年度がその100周年にあたることから、この運動が北区で起こったことを再認識してもらうことを目的に開催。当館で70・80・90周年の際に紹介してきた小作の資料に加えて、今回は、地主の中心人物であった眞嶋桂次郎の人となりや垣間見える資料も展示することで、改めて、農民運動として全国的に有名な出来事が北区において起こったことを再認識してもらう機会として広く紹介する。

- ・主催 新潟市北区・新潟市北区郷土博物館
- ・会期 5/28 (土) ~ 8/28 (日)
- ・講演会
 - ・「近代における地主・小作関係の成り立ちと新潟県の農民運動—木崎村小作争議前夜の時代状況を考える—」
 - ・期日 6/11 (土) 14:00~16:00
 - ・会場 豊栄地区公民館大講堂

- ・講師 中村 元 氏 (新潟大学 人文学部 准教授)
- ・「地域社会と「人間らしさ」のゆくえ—木崎争議と木崎村の歴史を考える視点—」
- ・期日 7/2 (土) 14:00~16:00
- ・会場 豊栄地区公民館大講堂
- ・講師 大串 潤児 氏 (信州大学 人文学部 教授)
- ・バスツアー 木崎村小作争議のゆかりの地を巡る見学会
- ・期日 6/12 (日)、6/25 (土)
- ・講師 阿部 紀夫 氏 (木崎村小作争議記念碑保存会 事務局)・当館学芸員
- ・北区内中学生の見学会 (日時 6月下旬~7月中旬の間で実施)

③ 美術企画展 —重なりあう線、混ざりあう色—親子で楽しむアートの世界 (仮称)

対話による作品の鑑賞と、ワークショップによる創造体験を通して、自由で楽しいアートの世界に触れる機会とします。

- ・会期 9/17 (土) ~10/23 (日)
- ・作品鑑賞会 (当館学芸員) 「みる」を楽しもう
- ・ワークショップ (会期中2回実施、うち1回は外部講師を依頼)

④ 常設展拡大企画 昭和のくらし展 着るたのしみ、装うたしなみ (仮称)

昭和の時代に使われた衣服にまつわる道具と関連資料を展示し、「普段着」「余所行き(外出着)」という視点から、当時の服飾文化を紹介。

- ・会期 R5. 1/4 (水) ~5/7 (日)
- ・体験コーナー
- ・展示解説会 (当館学芸員)

2 教育普及事業 (講演会・講座・教室・講師派遣・レファレンス等)

(1) 講師派遣

(2) ふるさと学習

- ・学校や地域などと連携し、資料の紹介や展示見学の利用を図る

(3) レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
- ・他の博物館や大学など研究機関への協力

(4) 刊行物販売

3 市民ガイド (常設展示ボランティアガイド) の活動

市民ガイド研修 (スキルアップ研修、情報共有・情報交換) の実施、来館者対応についての調整の事務等。

4 博物館実習、職場体験等の受け入れ

- ・博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

5 郷土資料収蔵庫管理

- ・環境整備 ・虫の侵入防止 ・空調管理（郷土資料収蔵庫のみ）
- ・空調管理（郷土資料収蔵庫のみ）

6 横井の丘ふるさと資料館(分館)の廃止・解体にともなう業務

- ・資料搬出、郷土資料収蔵庫への搬入
- ・資料のくん蒸と、郷土資料収蔵庫収蔵室内への配架、本館への一部移動
- ・横井の丘ふるさと資料館の解体

7 所蔵資料（指定文化財含む）の保管・整理

- ・くん蒸処理（各分野の所蔵資料・新収蔵資料等）
- ・歴史資料の整理作業（目録化等）
- ・民俗資料の整理作業（台帳化、郷土資料収蔵庫配架等）
- ・美術作品の整理作業（台帳整理等）
- ・外部依頼の整理作業（歴史資料目録のデータ入力等）

8 北区の文化財（指定文化財ほか）の関連事業

(1) 調査整理

- ・木崎村小作争議関連資料の調査整理

(2) 公開活用

- ・木崎村小作争議関係資料（市指定文化財）の公開

(3) 保護育成

- ・くん蒸処理（収蔵資料等）（再掲）
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」、市指定天然記念物「大久保のケヤキ」に関する対応

9 特色ある区づくり事業「木崎村小作争議100周年事業」

(令和2～4年度の3カ年事業のあらまし)

木崎村小作争議は、農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の農民運動として全国的にも知られている。令和4(2022)年度がその100周年にあたることから、

この運動が北区で起こったことを再認識してもらうことを目的として実施するもの。
あわせて、次世代に引き継ぐために、劣化の進んでいる歴史資料の修復を行う。

【令和4年度の事業】

- ・企画展「生活の向上を求めた小作農民と地主 眞嶋桂次郎 展 一史料でさぐる小作と地主それぞれの思い―」の開催。
- ・修復した看板（市指定文化財）を企画展で公開。
- ・企画展関連事業として、講演会とゆかりの地を巡るバスツアーを開催。
- ・企画展の総括として、展示の記録、修復の報告とともに、関連資料をまとめた「記録・報告集」を作成。